

2023. 3. 6

Report from AKATSUKA PARK

発行：赤塚公園ニリンソウを守る会

- 植物モニタリング活動 3/13 9:00 ため池公園スタート 以降はニリンソウ月間企画に
- ニリンソウシーズン直前の観察・学習活動 3/12 10:00 大門観察台集合
- ニリンソウ月間 2023 3/18 (土) ~4/16 (日)
期間中の土・日 10:00~12:00 大門自生地でのニリンソウガイド
期間中の毎月曜日 9:00~12:00 春の野草観察会 モニタリングと同じ時間・場所
★どの活動も、飛び入り参加歓迎！ 雨天は小雨でも中止

<問合せ：赤塚公園サービスセンター03-3938-5715>

ニリンソウ 落ち葉の下から「こんにちは」



3/6 のモニタリング（植物観察・記録活動）。スタート時点の地表近くの気温は9.3℃。毎日の気温が10℃を超える日が続くとニリンソウはどんどん葉を伸ばしてくるのですが、その条件に近くなってきたのでしょうか。落ち葉の下からニリンソウの葉が展開してきました。やや赤茶の葉は地上に現れてまだ間もなく、葉に葉緑素をため込む前の姿。赤塚城址の北側斜面、板橋区郷土資料館裏のニリンソウは昨年よりも広がっていました。

それでも、今年の展葉は少し遅いかも

下の写真は大門自生地の3/6の様子ですが緑に

見えるのはほとんどニリンソウ。茶色の落ち葉の下にもニリンソウが展開しています。生物多様性保全のために後退させた擬木の近くにもニリンソウの群が見えてきたので、ニリンソウの生育状態は良好と言えます。

でも、この数年のニリンソウは2月下旬に展葉を始めて、3月のこの時期には林床（林の地面）は一面緑の絨毯になっていたの、今年の展葉は少し遅いのでしょうか。もっとも、寒暖差の激しい今年の冬。今まで通りではいけないことが続いています。開花はどうかしら？





←左は大門地区の広場に立ててある案内掲示板近くで、訪れた人が初めて出会う「ウエルカム・ニリンソウ」です。画面上部の落ち葉の下にも葉が伸びていたので、ここの群落は確実に拡大しています。



保護活動はニリンソウだけを増やそうとはしていません。絶滅危惧種ではありませんが、希少種の**ジロボウエンゴサク**がこの2、3年、あちこちに群落を広げています。通常はニリンソウより1週間か10日ぐらい早く開花します。右の写真が展葉した姿ですが、どんな花を咲かせるのか、お楽しみ！

色彩を放つヤブツバキ

←色彩感が乏しい冬の林で、盛んに「色気」を放っているのが**ヤブツバキ**。今年はいつもとよりたくさん花をつけているように見えるのは、気のせいかしら。



この日の朝はまだ雨が残っていたため、草の葉は雨粒で濡れていました。年がら年中、毎回観察している**ノゲシ**ですが、この日の葉は清々しく見えました。→
↓毎年、ニリンソウがピークを迎えるころに開花する**ハナダイコン**。



城址西端の小公園で咲き始めました。オオイヌノフグリと並んで春一番の花**ヒメオドリコソウ**もあちこちに咲いていて、春本番が近いです↑

